

## ○佐久市スポーツ推進審議会条例

平成17年4月1日条例第210号

改正

平成24年3月28日条例第16号

## 佐久市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、佐久市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(任務)

第2条 審議会は、佐久市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) スポーツ施設の設置及び整備並びに運営に関する事項
- (2) スポーツ指導者の養成及びその資質の向上に関する事項
- (3) スポーツ事業の実施及び奨励に関する事項
- (4) スポーツ団体の育成に関する事項
- (5) スポーツによる事故の防止に関する事項
- (6) スポーツの技術水準の向上に関する事項
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関する重要事項

(組織)

第3条 審議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) スポーツに関する学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第7条 審議会に、必要があるときは、幹事を置くことができる。

- 2 幹事は、教育委員会事務局職員のうちから教育委員会が任命する。
- 3 幹事は、審議会の所掌事務について委員を補佐する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月28日条例第16号）

この条例は、公布の日から施行する。

## 第二次佐久市スポーツ推進計画骨子（案）

## 1 計画策定の趣旨

本市では、平成29年3月に策定した「佐久市スポーツ推進計画」に基づき、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて豊かな人間関係を築き、心身ともに健康で充実した生活が送れるようスポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

この間、少子・超高齢化に加え、社会活動や人々の生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の感染拡大、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」）の開催など、スポーツ分野を取り巻く環境は変化してきています。

また、本年度は国が策定している「第2期スポーツ基本計画」の計画最終年度であり、第3期計画の策定が進められる中で、国の動向や変化する社会情勢、市民ニーズに対応するとともに、現計画が令和3年度で終了することから、第二次計画の策定を行うものです。

## 2 計画の位置づけ

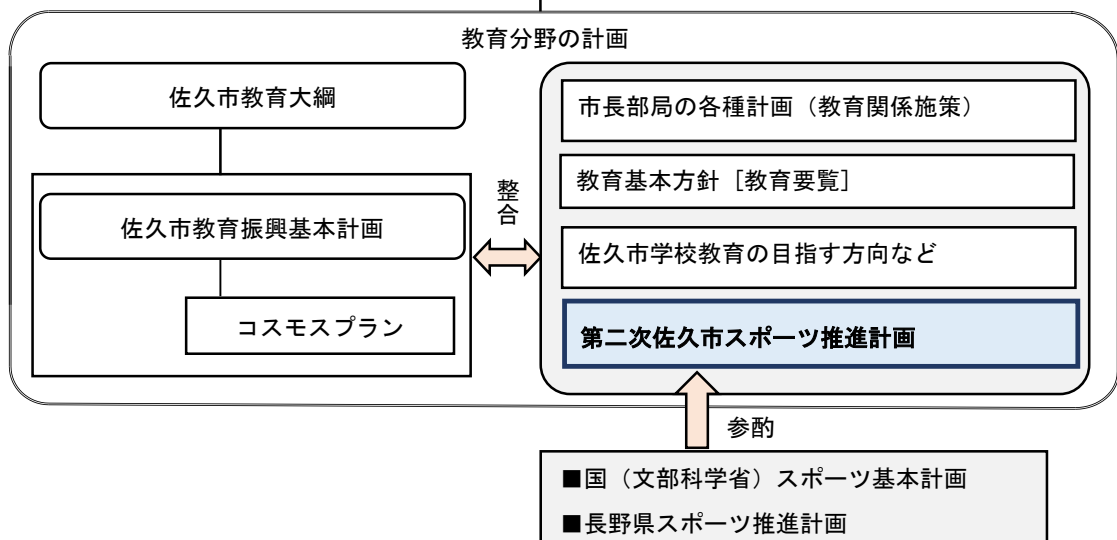
市の最上位計画である「第二次佐久市総合計画」を上位計画とし、「佐久市教育大綱」の理念に基づき、「佐久市教育振興基本計画」のスポーツ分野の個別計画として位置づけます。

## 第二次佐久市総合計画

- 基本理念**
- ・「市民の実感から始まり、実感に結びつく」まちづくり
  - ・「ひとと地域の絆をさらに強め、広げる」まちづくり
  - ・「新しい展開の可能性に挑戦する」まちづくり

## 将来都市像

「快適健康都市 佐久」～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～



### 3 計画の進捗状況と課題

本市では、平成29年3月に策定した「佐久市スポーツ推進計画」が今年度に終期を迎え、新たに「第二次佐久市スポーツ推進計画」を策定するため、「佐久市民スポーツに関するアンケート」の結果から市民のスポーツに対する意欲や日頃のスポーツへの関わりなどの実態を把握するとともに、現行の計画の進捗状況と課題を分析し、整理を行いました。

#### 数値目標 成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率

（平成27年度）  
26.7%



（令和3年度）  
45.8%



目標（令和3年度）  
65.0%

スポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進したことにより、成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率は、計画策定時の26.7%と比較して45.8%と上昇しておりますが、目標値とは未だに開きがあります。

（※1）引き続き、市民のスポーツ実施に向け、スポーツを行う機会や気軽にスポーツを始めるきっかけを提供するなど、スポーツ活動を推進する必要があります。

特に「忙しくて時間がとれない」など関心があるが行っていない人や「運動するのが面倒」などスポーツへの関心が低い人へのアプローチを進めていく必要があります。

また、市民アンケートの結果より、ウォーキングやトレーニングなどコロナ禍でも一人でできるスポーツへのニーズを捉えて推進していくことが重要と考えられます。

#### 基本目標1 スポーツによる健康で活力あるまちづくり

数値目標：年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合の増加

（平成27年度）  
61.9%



（令和3年度）  
70.5%



目標（令和3年度）  
94.0%

初心者向けやスポーツを行うきっかけとなる教室の開催などにより、年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合は、計画策定時61.9%と比較して70.5%と上昇しておりますが、目標値とは未だに開きがあります。

以下、（※1）と同じ

#### 基本目標2 スポーツを通じた交流による賑わいのあるまちづくり

数値目標：市外の方も参加、観戦できる大会などの開催件数

（平成27年度）  
91件



（令和2年度）  
15件



目標（令和3年度）  
125件

市外の方も参加、観戦できる大会などの年間の開催件数は増加傾向でありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減少となっています。

市では、これまで豊かな自然環境、国内でも有数の日照時間が長いという特性や高速交通網の優位性を活かして、スポーツ大会やイベント、スポーツ合宿の誘致などによる交流人口の創出に取り組んできました。

スポーツ大会・イベントの開催やスポーツ合宿の受入れは、地域経済への貢献度が大きく、ウィズ／ポストコロナ時代を見据えて、地域経済の活性化のため、新たなスポーツ大会やイベント開催の検討、スポーツ合宿の誘致を引続き行う必要があります。

### 基本目標3 東京オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツ振興

施策目標：◆海外競技団体による東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市での事前合宿の決定  
◆ホストタウン交流計画に基づく交流事業の実施



エストニア共和国のホストタウン登録に基づき、東京大会へ向けた事前合宿を実施した

東京大会に向け、エストニア共和国フェンシング・柔道・レスリング・陸上（十種競技）の選手団による事前合宿を令和3年7月12日から28日までの17日間受入れました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、選手と市民が直接ふれあう交流事業は難しい状況でしたが、公開練習の実施や応援ビデオメッセージなどの交流事業を行いました。

今後、これまでの成果をレガシーとして、継承・発展させていくことが重要と考えられます。

### 基本目標4 子どもがスポーツに参加する機会の充実

数値目標：小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加者数

(平成27年度)  
751人



(令和2年度)  
696人



目標(令和3年度)  
900人

新たな小中学生対象のスポーツ教室の開催などにより、小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加者数は増加傾向でしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。

令和元年度の参加者数は、1,184人で目標数値を達成しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ少年団活動などの機会が減少していることから、運動不足・体力低下が懸念されます。

また、積極的にスポーツをする子どもと、そうではない子どもの二極化が課題として考えられることから、運動習慣が身に付いていない子どもへのアプローチを進めていく必要があります。

### 基本目標5 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

数値目標：スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数

(平成27年度)  
3,963人



(令和2年度)  
2,311人



目標(令和3年度)  
4,400人

市民ニーズに応じた新たなスポーツ教室の開催などにより、スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数は増加傾向でしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。

平成29、30年度の参加者数は、4,465人、4,434人で目標数値を達成しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした市民活動の制限により、今後のスポーツ活動の在り方を考えるきっかけとなるとともに、一人でもできるスポーツへの関心が高まっていくと考えられます。

また、東京大会の開催を契機に、共生社会への意識が高まっていることから、障がい者スポーツに関する知識の普及啓発や障がい者スポーツの体験機会の創出の充実が重要と考えられます。

## 基本目標 6 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

数値目標：市民スポーツ団体加入者数

(平成27年度)  
10,515人



(令和2年度)  
9,986人



目標(令和3年度)  
11,000人

地域のスポーツ団体への支援や市民への周知などにより、平成30年度の加入者数は、11,118人で目標数値を達成しましたが、市内スポーツ団体加入者数は、ほぼ横ばいとなっています。

地域におけるスポーツ活動には、市民に対してスポーツの指導などを行う「特定非営利活動法人佐久市体育協会」、「総合型地域スポーツクラブ」、「スポーツ少年団」などの関係団体が重要な役割を担っております。

市民が生涯にわたって、身近な地域で安心してスポーツ活動に取り組んでいくために、引き続き関係団体の育成や活動を支援するとともに、指導者の養成を行う必要があると考えられます。

## 基本目標 7 競技スポーツの振興

数値目標：スポーツ大会の延べ参加者数

(平成27年度)  
13,840人



(令和2年度)  
1,415人



目標(令和3年度)  
17,500人

トップアスリートによるスポーツ教室の開催などを実施しましたが、スポーツ大会の延べ参加者数は、数値目標を達成できませんでした。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止のため、大幅な減少となっています。

東京大会での本市にゆかりのある選手やエストニア共和国選手団の活躍をはじめとするトップアスリートのパフォーマンスは、多くの市民に夢や希望、感動を与え、今後、さらなる競技スポーツへの関心の高まりや参加意欲の向上などが期待されます。

また、令和10年(2028年)に長野県での開催となる国民スポーツ大会(旧国民体育大会)・全国障害者スポーツ大会(以下「国スポ・全障スポ」)について、柔道、空手道、アーチェリー、軟式野球が本市で開催予定であり、次世代育成、市民の機運の醸成を図ることなどが必要になると考えられます。

## 基本目標 8 体育施設の充実・整備

数値目標：体育施設の延べ利用者数

(平成27年度)  
740,511人



(令和2年度)  
536,644人



目標(令和3年度)  
750,000人

佐久市総合体育館トレーニングルームのリニューアル、佐久市総合体育館の改修や利用者の利便性向上を図ったことにより、体育施設の延べ利用者数は、増加傾向でありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設使用の制限により、減少となっています。

平成28、30年度、令和元年度の利用者数は、783,627人、788,317人、759,035人と目標数値を達成しました。

市民アンケートでは「身近な小規模スポーツ施設の拡充」が約43.0%と、施設拡充を望む声が多くありました。

一方で、今後、体育施設の老朽化に伴う更新や維持にかかる費用への対応が課題として考えられることから、市民ニーズを捉えた計画的な施設の整備や集約化などを検討する必要があります。



## 4 計画の期間

計画期間は、市の第二次佐久市総合計画と整合を図り、令和4年（2022年）度から令和8年（2026年）度までの5年間とします。

## 5 本計画におけるスポーツの定義

本計画は、「スポーツ」を幅広く捉え、自らが身体を動かして行う『する』スポーツだけではなく、競技を観戦する『観る』スポーツや、監督・コーチなどの指導者、スポーツ大会の審判やスタッフ、プロチームのファンやサポーターとして参加する『支える』スポーツなども、スポーツ活動として捉えています。

そして、「スポーツ」を『する』、『観る』、『支える』の3つの関わり方として捉えるだけではなく、階段の上り下りや職場までの徒歩、自転車での移動、ラジオ体操、身近な場所・環境での散歩など、日常生活における『健康のために意識的に行う身体活動』も「スポーツ」とします。

このように、「スポーツ」という概念や活動を広く定義づけ、市民誰もが関われるスポーツを推進していきます。

## 6 持続可能な開発目標（SDGs）に関連する目標

本計画に基づき展開する各施策は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するものであり、関連性の高いものを目標とします。関連するSDGsの目標は「3, 4, 8, 10, 11, 17」です。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現するための17のゴールで構成されています。

## 7 第二次佐久市スポーツ推進計画の基本的な考え方

第二次佐久市総合計画の本市が目指す将来都市像である「快適健康都市 佐久」を実現するため、基本理念、目指す市民像、基本目標を掲げ、スポーツ振興施策を推進します。

### (1) 基本理念（現教育大綱における基本理念）

生涯にわたり主体的・創造的に学び、  
生きる力を育む人づくり、まちづくり

### (2) 目指す市民像（現教育大綱における目指す市民像）

生涯にわたって学び続け、互いに支え合い高め合う市民

### (3) 数値目標と基本目標

現計画では、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて豊かな人間関係を築き、心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう取り組んできました。

計画の進捗状況と課題、国のスポーツ基本計画などを参酌する中で数値目標と基本目標を新たに設定します。

この数値目標の達成を目指し、4つの基本目標を掲げ、スポーツ振興施策を展開していきます。

#### 【数値目標】

##### 市民のスポーツ施策に関する満足度

第二次佐久市総合計画に基づく、住みやすさ感・健康感・幸福感についての市民アンケート調査の中の「スポーツ施策」についての市民の満足度を高めることとする。

「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」の5段階のうち「満足」「やや満足」と回答した割合。

基準値  
(令和2年度)  
36.0%



目標値  
(令和8年度)  
45.0%

## 基本目標

基本目標 1 スポーツによる健康で活力あるまちづくり

基本目標 4 子どもがスポーツに参加する機会の充実

基本目標 5 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

*new*

**基本目標 1 健康で活力あるスポーツライフの推進**

基本目標 8 体育施設の充実・整備

*new*

**基本目標 2 スポーツを安全で気軽に楽しめる施設環境の整備**

基本目標 6 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

基本目標 7 競技スポーツの振興

*new*

**基本目標 3 スポーツを支える団体の支援と競技力の向上**

基本目標 2 スポーツを通じた交流による賑わいのあるまちづくり

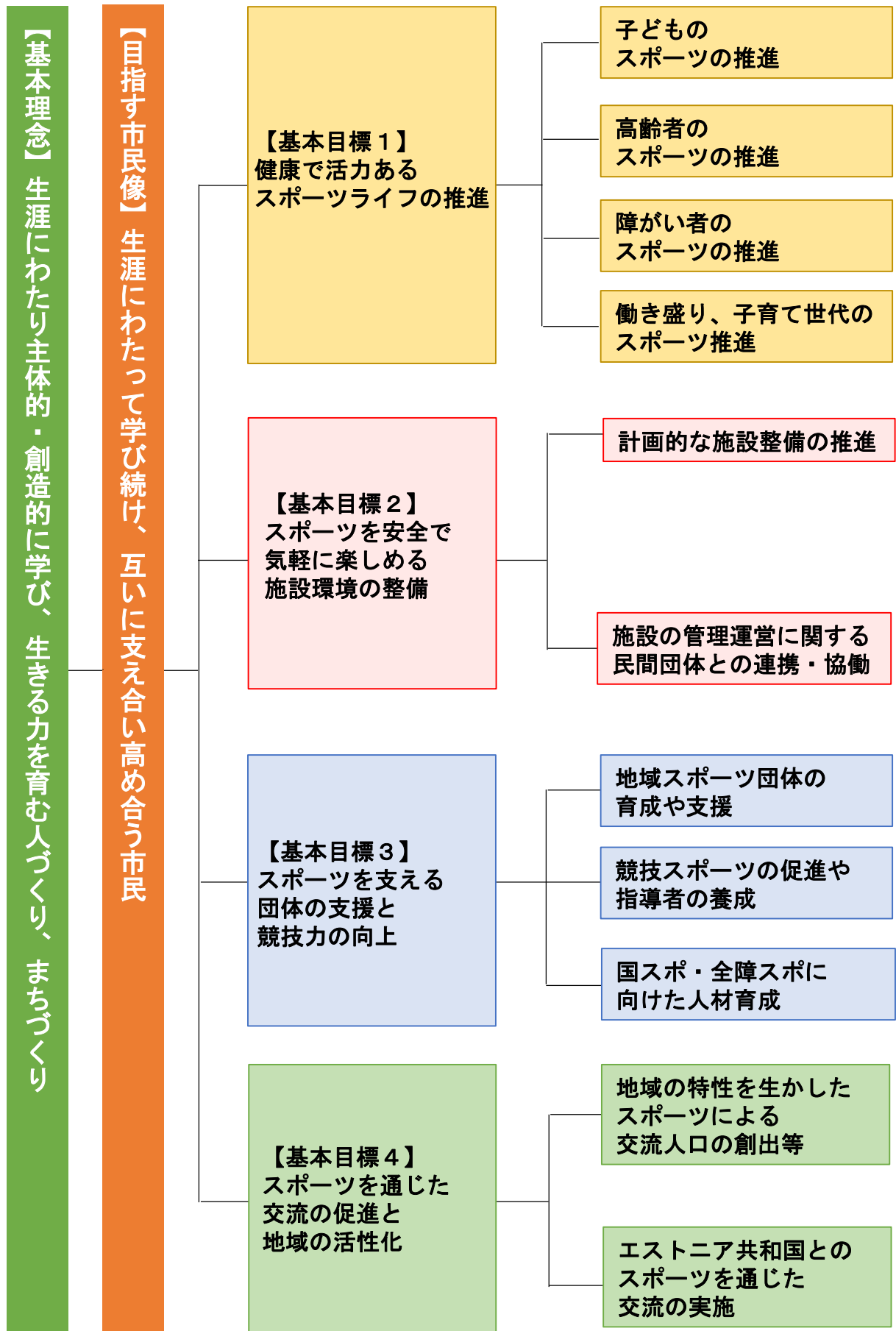
基本目標 3 東京オリンピック・パラリンピック開催を通じた  
スポーツ振興

*new*

**基本目標 4 スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化**



# 第二次佐久市スポーツ推進計画の体系図



## 8 施策の展開

基本理念の実現、数値目標の達成を目指し、次の4つの基本目標に沿って施策を展開します。

### 基本目標 1 健康で活力あるスポーツライフの推進

性別や年齢、障がいの有無などを問わず、すべての市民が生涯にわたり心身ともに健康で暮らせるように、スポーツに親しむ機会の充実を図ります。

現計画期間において、成人のスポーツ実施率が目標値を達成していないことから、さらなる実施率の向上を図るため、年齢の違いや障害の有無など、「子ども」、「高齢者」、「障がい者」、「働き盛り、子育て世代」の4つのライフステージに応じたスポーツ活動の推進します。

関連する  
SDGsの目標



#### 【具体的施策】

##### (1) 子どものスポーツの推進

子どもがスポーツに興味を持ち、生涯にわたってスポーツに親しむきっかけをつくとともに、子どもの基礎体力向上を図ります。

##### (2) 高齢者のスポーツの推進

高齢者が健康で豊かな生活を送るため、身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる機会の充実を図ります。

##### (3) 障がい者のスポーツの推進

東京大会を契機とし、一層、障がい者スポーツに対する理解を深めるため、市民への普及啓発と障がい者がスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

##### (4) 働き盛り、子育て世代のスポーツ推進

この世代は、仕事や子育ての忙しさからスポーツをする機会が少なくなりがちのため、気軽にできる運動・スポーツや親子でも参加できる機会の充実を図ります。

No.	成果指標	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
1	成人のスポーツ実施率 (週1日以上)	45.8%	65.0%

出典：「令和3年度 佐久市民スポーツに関するアンケート調査結果」

No.	成果指標	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和8年度)
2	スポーツをすることが 好きな児童生徒の割合	90.1%	95.0%

出典：「全国体力・運動能力、運動慣習等調査結果」

市内の小学校5年生、中学校2年生を対象とした調査

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で調査なし

## 基本目標 2

## スポーツを安全で気軽に楽しめる施設環境の整備

市内の体育施設などの公共施設が老朽化に伴う更新時期を迎えることから、更新や維持にかかる費用への対応が課題となっています。

今後は市民ニーズを的確に捉え、「佐久市公共施設等総合管理計画」や将来人口推計などを勘案する中で、適正に維持・管理・運営するとともに、集約化など含めた計画的な整備や改修を図ります。

関連する  
SDGsの目標



### 【具体的施策】

#### (1) 計画的な施設整備の推進

老朽化している施設があることから、誰もが快適に、安全で安心して利用できるよう、計画的な改修を図るとともに、バリアフリー化を推進します。

また、「佐久市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、集約化などを含めた計画的な整備や機能の充実を図ります。

#### (2) 施設の管理運営に関する民間団体との連携・協働

指定管理制度による、民間活力を導入した体育施設の効率的な運営とサービスの向上を図ります。

また、使用料の電子決済化などを通して、利用者の利便性向上を図ります。

No.	成果指標	基準値	目標値 (令和8年度)
3	体育施設の延べ利用者数	760,000人	830,000人

出典：「主要施策の成果報告書」

基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、平成27年度から令和元年度の5か年平均値を基準としました。

また、市営武道館閉鎖、令和4年度からの駒場公園所管替えを考慮し算出しました。

## 基本目標 3

## スポーツを支える団体の支援と競技力の向上

市民が生涯にわたってスポーツ活動に取り組むためには、市民のスポーツ活動を支える団体などへの支援や指導者などの人材の確保が課題となっています。

このため、地域のスポーツ活動の振興を担っている特定非営利活動法人佐久市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの関係団体の育成や活動を支援するとともに、指導者の養成を図ります。

また、令和10年（2028年）に長野県で国スポ・全障スポが開催される予定であることから、スポーツ団体と連携し、ジュニア選手の強化・育成体制の充実を図ります。

関連する  
SDGsの目標



### 【具体的施策】

#### （1）地域スポーツ団体の育成や支援

地域スポーツ振興の担い手である特定非営利活動法人佐久市体育協会をはじめ、身近な地域でスポーツを楽しむ機会を提供する総合型地域スポーツクラブ、子どもの健全育成とスポーツに親しむ機会を提供するスポーツ少年団などが安定的・継続的な運営を行えるよう継続した支援を図ります。

#### （2）競技スポーツの促進や指導者の養成

佐久市体育協会や各種競技団体との連携を深め、指導者などの人材発掘や確保、養成により競技力の向上を図ります。

#### （3）国スポ・全障スポに向けた人材育成

令和10年（2028年）に長野県で開催が予定される、国スポ・全障スポで佐久市出身の選手が活躍できるよう、競技スポーツ人口の増加やジュニアから成人までの競技力のアップ、選手育成を促進します。

No.	成果指標	基準値	目標値 (令和8年度)
4	全国大会等出場激励金 交付件数	42件	52件

出典：「主要施策の成果報告書」

基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、平成27年度から令和元年度の5か年平均値を基準としました。

## 基本目標 4

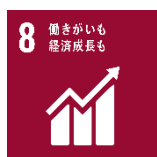
## スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

現計画期間において、スポーツ大会・イベントの開催やスポーツ合宿の誘致のほか、東京大会を通じたエストニア共和国の事前合宿受入れなどにより、交流人口の創出、地域経済の活性化を図ってきました。

今後は、ウィズ／ポストコロナ時代を見据え、本市の強みである年間日照時間の長さ、交通の優位性などを生かし、新たなスポーツ大会開催の検討やスポーツ合宿の積極的な誘致により、更なる交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

また、東京大会におけるエストニア共和国のホストタウンとして、交流が一過性のものではなく、人的、経済的、文化的な相互交流が継続的に行われるような事業を推進します。

関連する  
SDGsの目標



### 【具体的施策】

#### (1) 地域の特性を生かしたスポーツによる交流人口の創出等

本市の特性を生かし、市内の宿泊施設と連携した積極的なスポーツ大会やイベント、合宿の誘致をすることにより、地域経済の活性化を図ります。

また、国内外の友好都市とのイベントなどを開催し、交流の機会の充実を図ります。

#### (2) エストニア共和国とのスポーツを通じた交流の実施

東京大会におけるエストニア共和国選手との交流をレガシーとして継承するため、国内で開催される国際大会等に出場するエストニア共和国選手の事前合宿などにより、エストニア文化の紹介や市民との交流を実施します。

No.	成果指標	基準値	目標値 (令和8年度)
5	スポーツ合宿受入れ人数	1,500人	2,500人

出典：「佐久市体育協会の調べ」

基準値は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、平成27年度から令和元年度の5か年平均値を基準としました。

## 9 計画の進行管理

本計画の進捗状況については、佐久市スポーツ推進審議会に報告し、施策の実施状況や数値目標などの点検、評価していただき、適切な進行管理に努めます。

## 佐久市スポーツ推進計画（平成29年度から令和3年度）の進捗状況と課題について

## 1 数値目標の進捗状況について

## (1) 数値目標の状況

内容	計画策定時 H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 R3	備考
成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率	26.7%	-	-	46.0%	-	45.8% (R3)	65.0%	出典：佐久市民スポーツに関するアンケート

## (2) 基本目標における数値目標の状況

内容	計画策定時 H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 R3	備考
年間を通じて1回以上スポーツをする成人の割合の増加	61.9%	-	-	79.2%	-	70.5% (R3)	94.0%	出典：佐久市民スポーツに関するアンケート
市外の方も参加、観戦できる大会などの開催件数	91件	-	-	95件	-	15件	125件	出典：体育協会調べ
小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加数	751人	831人	895人	708人	1,184人	696人	900人	出典：主要施策の成果報告書
スポーツ教室（小中学生対象の教室除く）の延べ参加者数	3,963人	4,386人	4,465人	4,434人	3,575人	2,311人	4,400人	出典：主要施策の成果報告書
市内スポーツ団体加入者数	10,515人	10,794人	10,273人	11,118人	10,715人	9,986人	11,000人	出典：社会体育基本調査
スポーツ大会の延べ参加者数	13,840人	14,148人	13,124人	13,134人	10,668人	1,415人	17,500人	出典：主要施策の成果報告書
体育施設の延べ利用者数	740,511人	783,627人	727,364人	788,317人	759,035人	536,644人	750,000人	出典：主要施策の成果報告書



## 2 数値目標の進捗状況


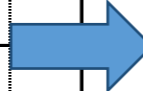
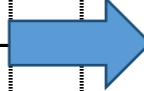
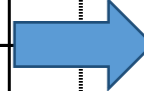









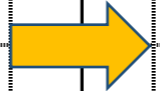
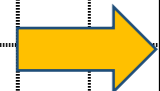
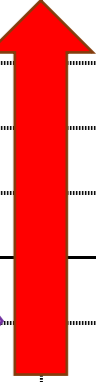
No.	数値目標	計画策定時 (H27年度)	現状値	目標値 (R3年度)	達成度	進捗状況と課題	第二次計画における整理
1	成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率	26.7%	45.8% (R3年度)	65.0%	△	<p>スポーツ振興施策を総合的かつ計画的に推進したことにより、成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率は、計画策定時の26.7%と比較して45.8%と上昇しておりますが、<u>目標値とは未だに開きがあります。</u></p> <p>（※1）<u>引き続き、市民のスポーツ実施に向け、スポーツを行う機会や気軽にスポーツを始めるきっかけを提供するなど、スポーツ活動を推進する必要があります。</u></p> <p>特に「<u>忙しくて時間がとれない</u>」など関心があるが行っていない人や「<u>運動をするのが面倒</u>」などスポーツへの関心が低い人へのアプローチを進めていく必要があります。</p> <p>また、市民アンケートの結果より、<u>ウォーキングやトレーニングなどコロナ禍でも一人で行えるスポーツへのニーズを捉えて</u>推進していくことが重要と考えられます。</p>	<p>第二次計画の数値目標は、スポーツ振興施策全般に係る指標とするため、<u>市民満足度アンケートの「スポーツ施策に関する満足度」を新たに設定します。</u></p> <p>なお、成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率は、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」における評価の指標として位置づけます。</p>

## 3 基本目標の進捗状況と課題

No.	基本目標	数値目標 施策目標	計画策定時 (H27年度)	現状値	目標値 (R3年度)	達成度	進捗状況と課題	第二次計画における整理
1	スポーツによる健康で活力あるまちづくり	年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合の増加	61.9%	70.5% (R3年度)	94.0%	△	<p>初心者向けやスポーツを行うきっかけとなる教室の開催などにより、年間を通じて1回以上スポーツをする成人（20歳以上）の割合は、計画策定時61.9%と比較して70.5%と上昇しておりますが、<u>目標値とは未だに開きがあります。</u></p> <p>以下、（※1）と同じ</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定します。</p> <p>また「成人（20歳以上）週1回以上のスポーツ実施率」と趣旨が重複するため、見直します。</p>
2	スポーツを通じた交流による賑わいのあるまちづくり	市外の方も参加、観戦できる大会などの開催件数	91件	15件 (R2年度)	125件	△	<p>市外の方も参加、観戦できる大会などの<u>年間の開催件数は増加傾向でありましたが</u>、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減少となっております。</p> <p>市では、これまで豊かな自然環境、国内でも有数の日照時間が長いという特性や高速交通網の優位性を活かして、スポーツ大会やイベント、スポーツ合宿の誘致などによる交流人口の創出に取り組んできました。</p> <p>スポーツ大会・イベントの開催やスポーツ合宿の受入れは、地域経済への貢献度が大きく、<u>アフターコロナを見据えて、地域経済の活性化のため、新たなスポーツ大会やイベント開催の検討、スポーツ合宿の誘致を引き続き行う必要があります。</u></p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標4：スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」として設定します。</p> <p>また、交流人口が評価できる指標として、「スポーツ合宿の受入れ人数」を新たに設定します。</p>
3	東京オリンピック・パラリンピック開催を通じたスポーツ振興	海外競技団体による東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市での事前合宿の決定ホストタウン交流計画に基づく交流事業の実施	-	-	-	○	<p>東京大会に向け、エストニア共和国フェンシング・柔道・レスリング・陸上（十種競技）の選手団による事前合宿を令和3年7月12日から28日までの17日間受入れました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、選手と市民が直接ふれあう交流事業は難しい状況でしたが、<u>公開練習の実施や応援ビデオメッセージなどの交流事業</u>を行いました。</p> <p>今後、これまでの成果を<u>レガシーとして、継承・発展させていくことが重要と考えられます。</u></p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標4：スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化」として設定します。</p> <p>今後もスポーツを通じた交流を継続していきます。</p>
4	子どもがスポーツに参加する機会の充実	小中学生対象のスポーツ教室の延べ参加者数	751人	696人 (R2年度)	900人	○	<p>新たな小中学生対象のスポーツ教室の開催などにより、小中学生対象のスポーツ教室の<u>延べ参加者数は増加傾向でしたが</u>、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。</p> <p>令和元年度の参加者数は、1,184人で目標数値を達成しました。</p> <p>しかし、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により</u>、スポーツ少年団活動などの機会が減少していることから、<u>運動不足・体力低下が懸念</u>されます。</p> <p>また、<u>積極的にスポーツをする子どもと、そうではない子どもの二極化</u>が課題として考えられることから、<u>運動習慣が身に付いていない子どもへのアプローチ</u>を進めていく必要があります。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定します。</p> <p>また数値目標は、少子化・人口減少の中で、参加人数などを指標として、適正な評価をすることは難しいため見直します。</p>

5	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数	3,963人	2,311人 (R2年度)	4,400人	○	<p>市民ニーズに応じた新たなスポーツ教室の開催などにより、スポーツ教室（小中学生対象の教室を除く）の延べ参加者数は増加傾向でしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。</p> <p>平成29、30年度の参加者数は、4,465人、4,434人で目標数値を達成しました。</p> <p><b>新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした市民活動の制限により、今後のスポーツ活動の在り方を考えるきっかけとなるとともに、一人でもできるスポーツへの関心が高まっていくと考えられます。</b></p> <p>また、<b>東京大会の開催を契機に、共生社会への意識が高まっていること</b>から、障がい者スポーツに関する知識の普及啓発や障がい者スポーツの体験機会の創出の充実が重要と考えられます。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標1：健康で活力あるスポーツライフの推進」として設定します。</p> <p>また数値目標は、少子化・人口減少の中で、参加人数などを指標として、適正な評価をすることは難しいため見直します。</p>
6	市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	市内スポーツ団体加入者数	10,515人	9,986人 (R2年度)	11,000人	○	<p>地域のスポーツ団体への支援や市民への周知などにより、平成30年度の加入者数は、11,118人で目標数値を達成しましたが、<b>市内スポーツ団体加入者数は、ほぼ横ばいとなっています。</b></p> <p>地域におけるスポーツ活動には、市民に対してスポーツの指導などを行う「<b>特定非営利活動法人佐久市体育協会</b>」、「<b>総合型地域スポーツクラブ</b>」、「<b>スポーツ少年団</b>」などの<b>関係団体が重要な役割</b>を担っております。</p> <p>市民が生涯にわたって、身近な地域で安心してスポーツ活動に取り組んでいくために、<b>引き続き関係団体の育成や活動を支援するとともに、指導者の養成</b>を行う必要があると考えられます。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標3：スポーツを支える団体の支援と競技力の向上」として設定します。</p> <p>また数値目標は、少子化・人口減少の中で、加入者数などを指標として、適正な評価をすることは難しいため見直します。</p>
7	競技スポーツの振興	スポーツ大会の延べ参加者数	13,840人	1,415人 (R2年度)	17,500人	△	<p>トップアスリートによるスポーツ教室の開催などを実施しましたが、スポーツ大会の延べ参加者数は、<b>数値目標を達成できませんでした。</b></p> <p>また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止のため、大幅な減少となっています。</p> <p>東京大会での本市にゆかりのある選手やエストニア共和国選手団の活躍をはじめとする<b>トップアスリートのパフォーマンスは、多くの市民に夢や希望、感動を与え、今後、さらなる競技スポーツへの関心の高まりや参加意欲の向上</b>などが期待されます。</p> <p>また、<b>令和10年（2028年）に長野県での開催となる国民スポーツ大会（旧国民体育大会）・全国障害者スポーツ大会（以下「国スポ・全障スポ」）</b>について、柔道、空手道、アーチェリー、軟式野球が本市で開催予定であり、<b>次世代育成、市民の機運の醸成</b>を図ることなどが必要になると考えられます。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を統合し、「基本目標3：スポーツを支える団体の支援と競技力の向上」として設定します。</p> <p>また数値目標は、少子化・人口減少の中で、参加人数などを指標として、適正な評価をすることは難しいため見直します。</p>
8	体育施設の充実・整備	体育施設の延べ利用者数	740,511人	536,644人 (R2年度)	750,000人	○	<p>新たな体育施設の整備などにより、体育施設の延べ利用者数は、<b>増加傾向でありましたが</b>、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による施設使用の制限により、減少となっています。</p> <p>平成28、30年度、令和元年度の利用者数は、783,627人、788,317人、759,035人と目標数値を達成しました。</p> <p>市民アンケートでは「身近な小規模スポーツ施設の拡充」が約43.0%と、施設拡充を望む声が多くありました。</p> <p>一方で、今後、<b>体育施設の老朽化に伴う更新や維持にかかる費用への対応が課題</b>として考えられることから、<b>市民ニーズを捉えた計画的な施設の整備や集約化など</b>を検討する必要があります。</p>	<p>第二次計画においては、基本目標を整理し、「基本目標2：スポーツを安全で気軽に楽しめる施設環境の整備」として設定します。</p> <p>また数値目標については、体育施設に係る利用者の評価を把握する指標として有効であることから、継続して設定します。</p>

# 第二次佐久市スポーツ推進計画策定スケジュール（案）

		令和3年度																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
スポーツ課																																					
		市民アンケート実施、結果分析									骨子案作成						素案作成									計画（案）作成											
議会																																					
																																					
	全員協議会報告																																				
教育委員会																																					
																																					
		計画見直し概要説明									骨子案審議									計画素案審議									計画（案）審議 計画策定								
企画調整委員会																																					
																																					
																																					
	骨子案審議									計画素案審議									計画（案）審議																		
スポーツ推進審議会																																					
																																					
																																					
	計画策定の諮問 骨子案審議									計画素案審議									計画（案）審議																		
市民参加等																																					
																																					
																																					
	骨子案について 市民意見公募（パブリックコメント）												計画素案について 市民意見公募（パブリックコメント）																								
																																					
	答申																																				

## 佐久市民スポーツに関するアンケート調査結果

令和3年度に実施した、市民のスポーツに対する意欲や日頃のスポーツへの関わりなどを調査した結果を分析しました。

調査対象：市内に在住の10歳以上の男女 1,000人

調査機関：令和3年4月30日（金）から令和3年5月28日（金）

回答状況：有効回答数427通（回収率42.7%）

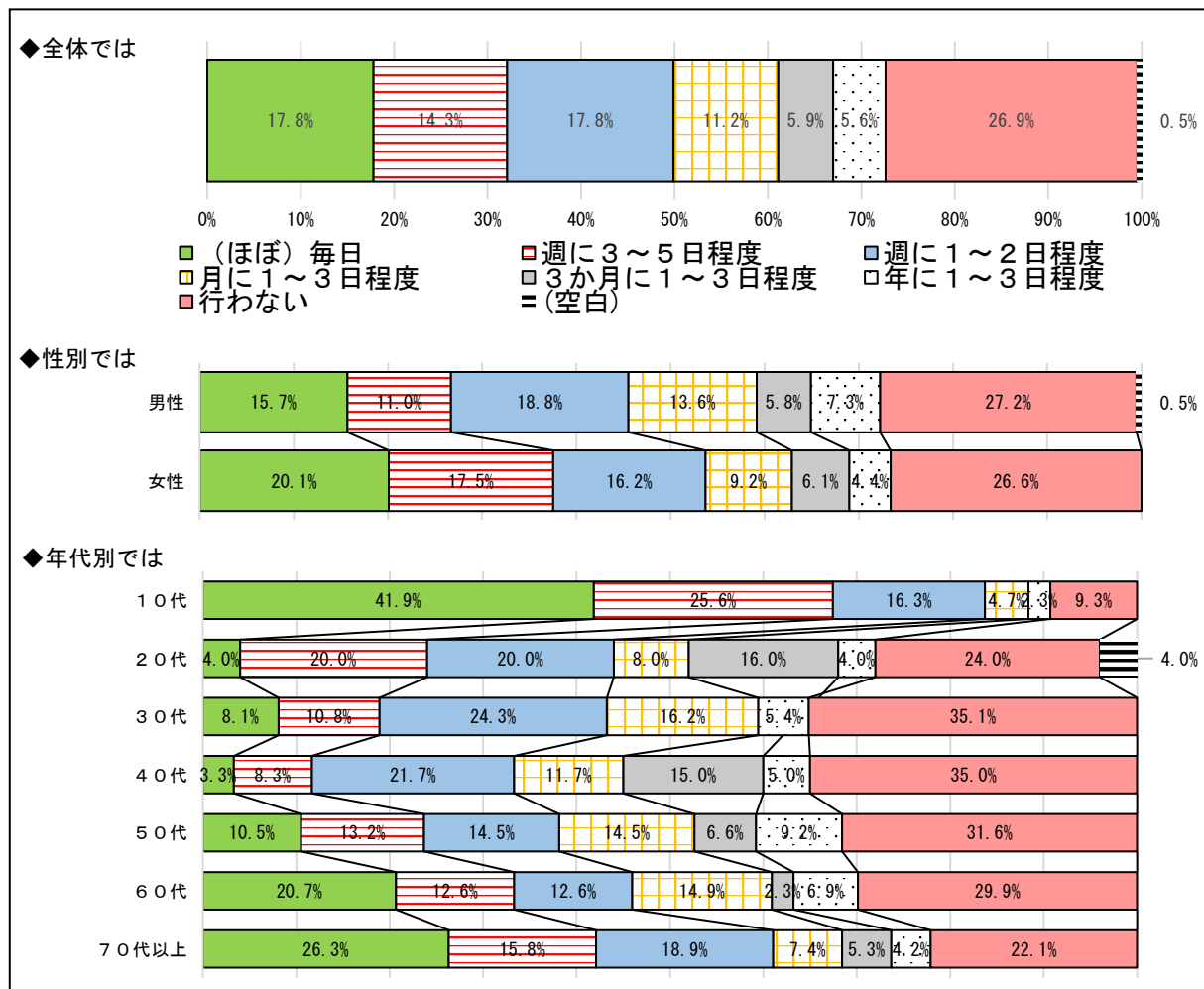
## ア 運動・スポーツ活動状況について

## (ア) 運動やスポーツの頻度 週に1日以上が2人に1人

この1年間で週に1日以上の運動習慣がある人は、全体で49.9%と平成27年度調査時と比べ、18.2%の上昇となっております。

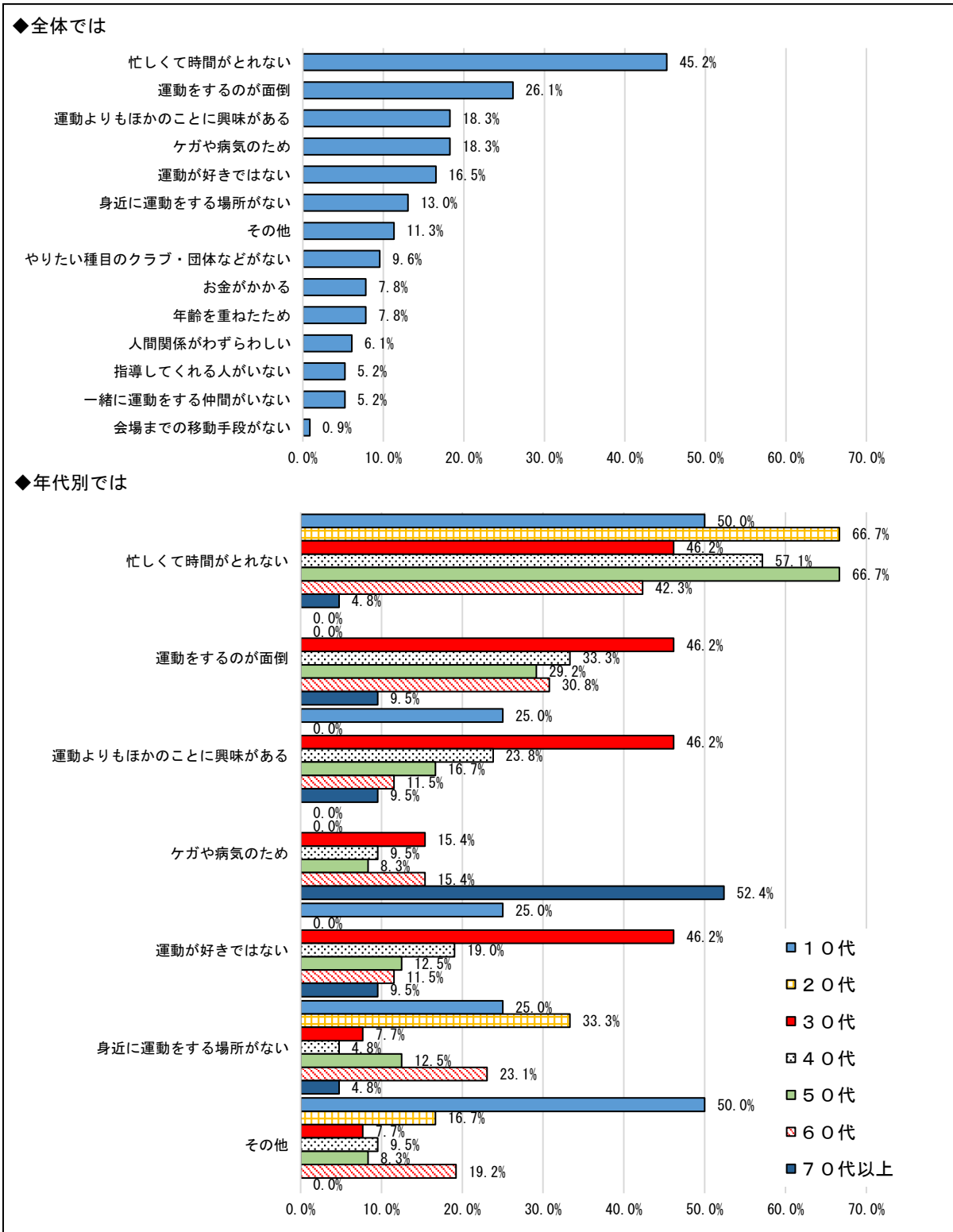
年代別では、10代が83.8%と前回と同様に一番高い状況となっており、40代は33.3%と依然低い水準ではありますが、各年代を見ても平成27年度調査時と比べ、大幅に上昇しています。

なお、「行わない」と回答した人も全体で26.9%と7.7%減少しており、各年代を見ても減少している状況となっております。



(イ) 運動やスポーツを行わない理由 「忙しく時間がとれない」がほぼ半数

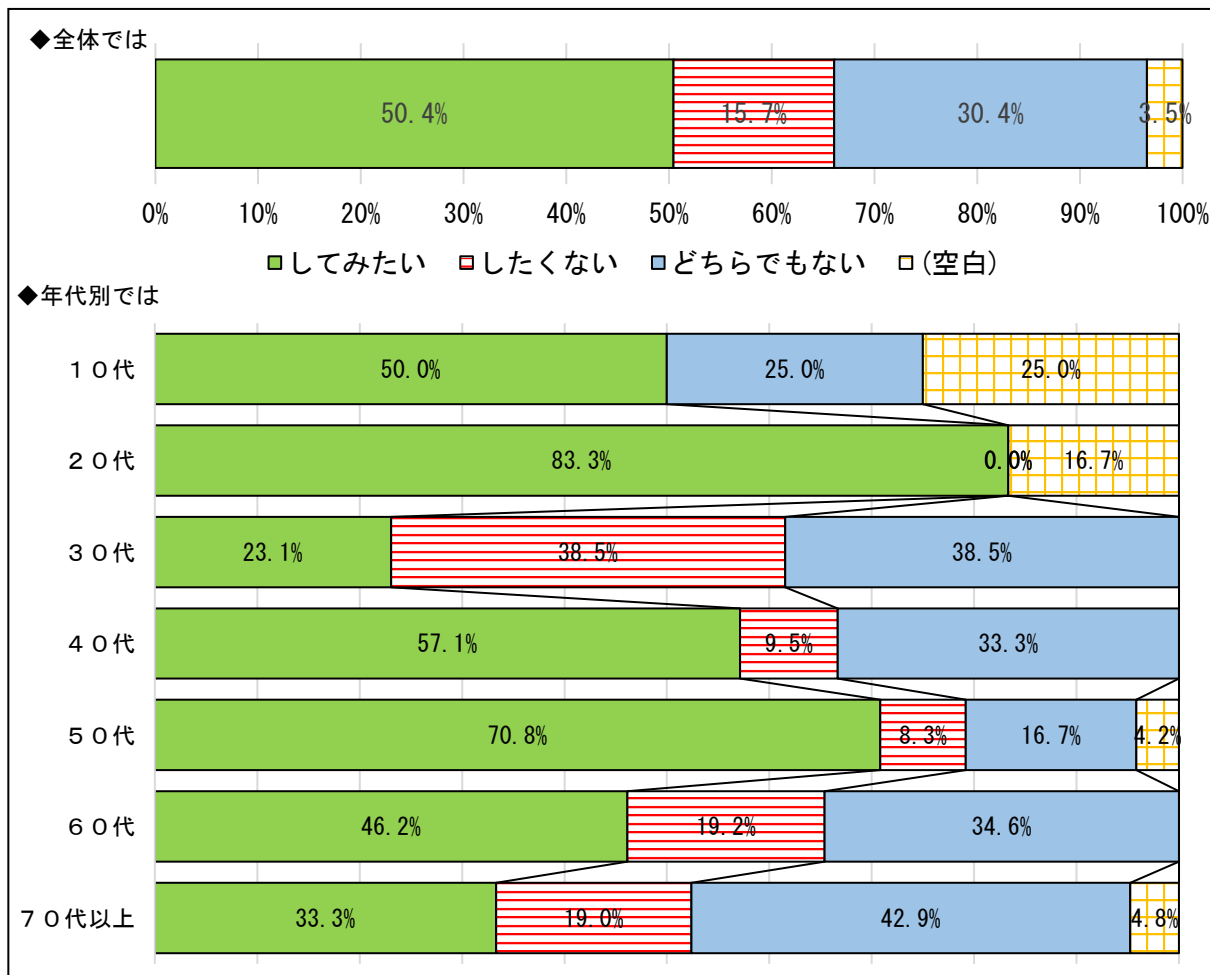
運動やスポーツを「行わない」と答えた115人に聞いた理由（複数回答）は、「忙しく時間がとれない」が圧倒的に多く、10代・20代・40代・50代では50%を超え、30代・40代においても40%を超えています。





(ウ) 今後、条件がそろえば運動やスポーツを「してみたい」が50%

運動やスポーツを「行わない」と答えた人で、今後、条件がそろえば「してみたい」と答えた人は、50.4%となっており、過半数は運動やスポーツに対する意欲があることが伺えます。

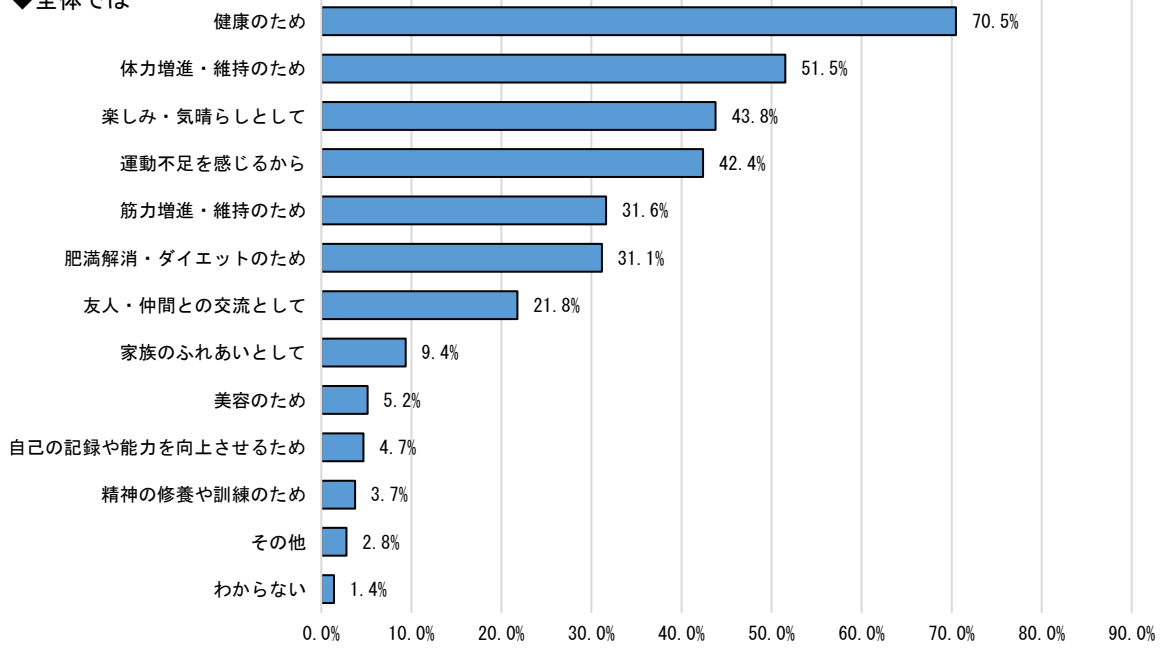


(エ) 運動やスポーツを行う目的は、「健康のため」が70.5%

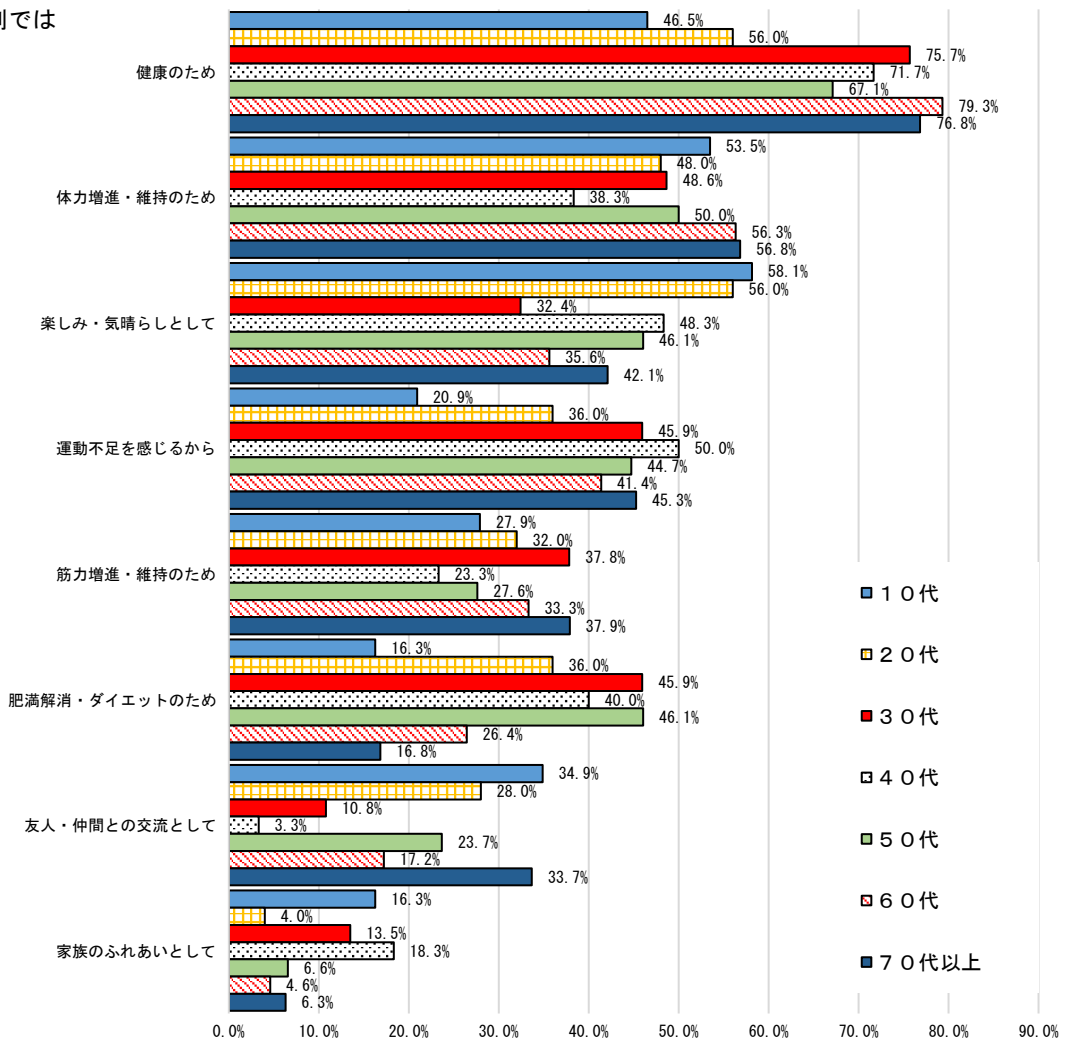
運動やスポーツを行う目的（複数回答）は、「健康のため」が70.5%、「体力増進・維持のため」が51.5%、「楽しみ・気晴らしとして」が43.8%となっています。



◆全体では

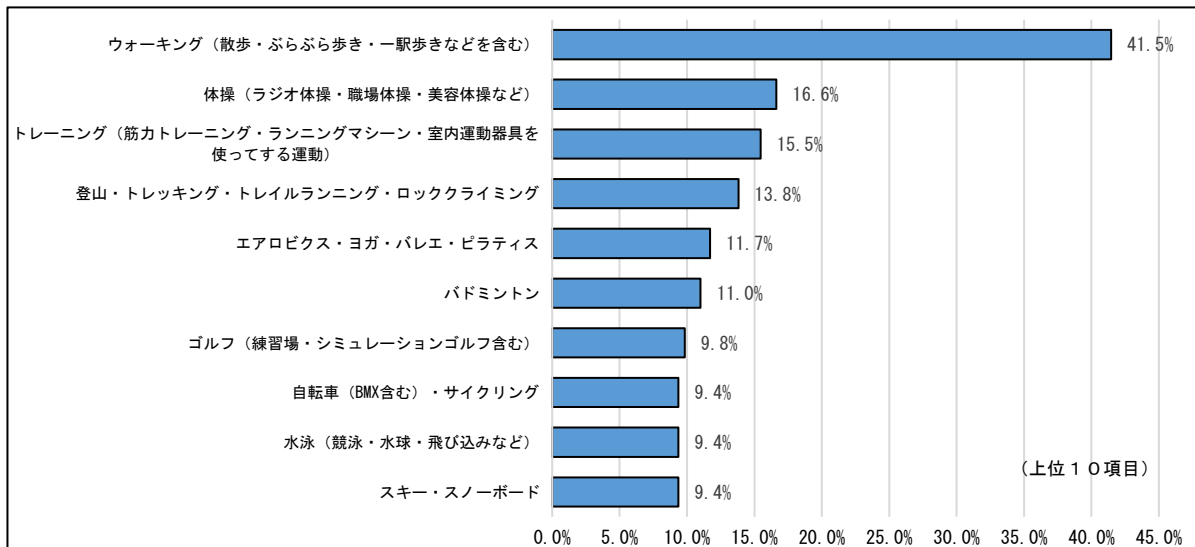


◆年代別では



(オ) 今後、行ってみたい運動やスポーツ 個人種目が中心

今後、行ってみたい運動やスポーツ（複数回答）は「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む）」が41.5%、「体操（ラジオ体操・職場体操・美容体操など）」が16.6%、「トレーニング（筋力トレーニング・ランニングマシン・室内運動器具を使ってする運動）」が15.5%など、上位には個人でも行える運動やスポーツが選ばれています。

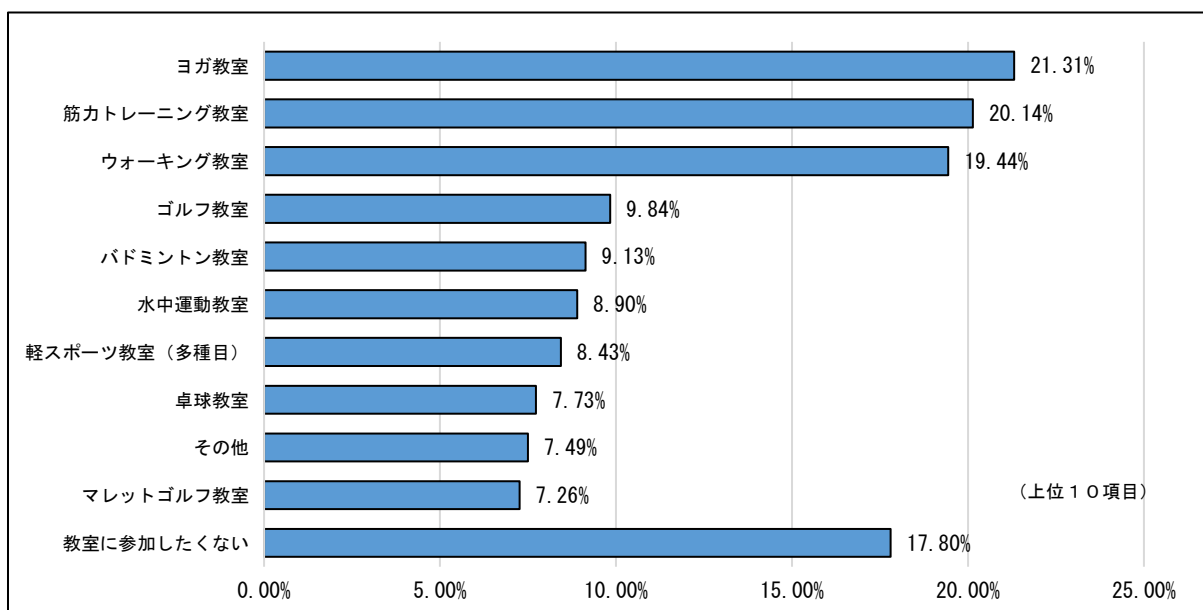


イ スポーツ教室について

参加してみたいスポーツ教室

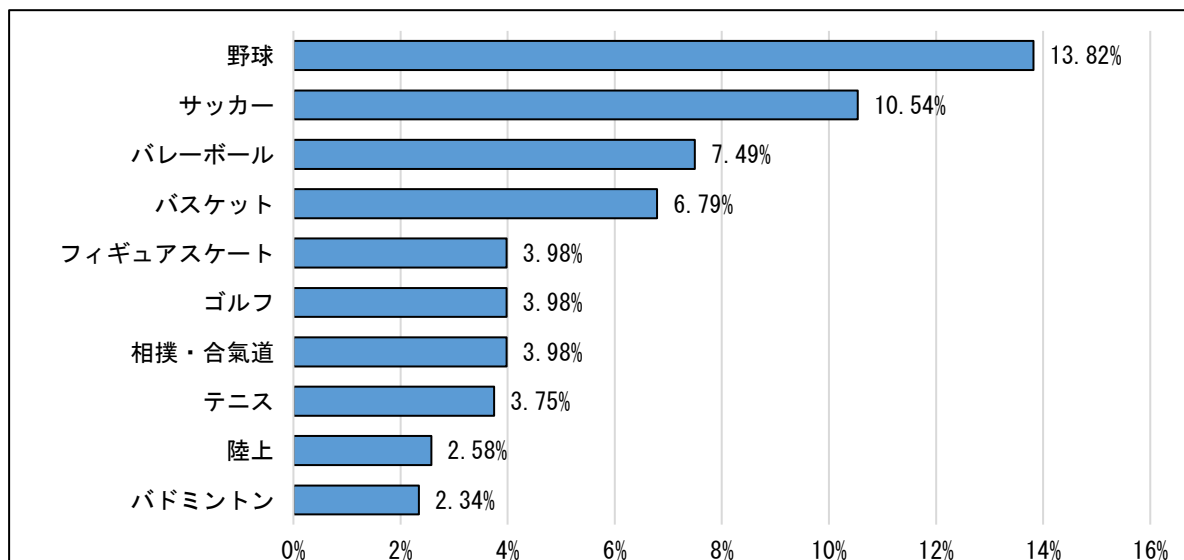
「ヨガ教室」「筋力トレーニング教室」「ウォーキング教室」が上位

今後どのスポーツ教室に参加してみたいか（複数回答）は、「ヨガ教室」が21.31%、「筋力トレーニング教室」が20.14%、「ウォーキング教室」が19.44%など、個人でも行えるスポーツの教室が選ばれています。



## ウ スポーツ大会・イベントについて

今後、観戦してみたいスポーツ「野球」「サッカー」「バレーボール」が上位  
あなたが今後、観戦してみたいスポーツ（複数回答）については、「野球」が  
13.82%、「サッカー」が10.54%、「バレーボール」が7.49%など、  
広く認知されたスポーツが上位を占めています。

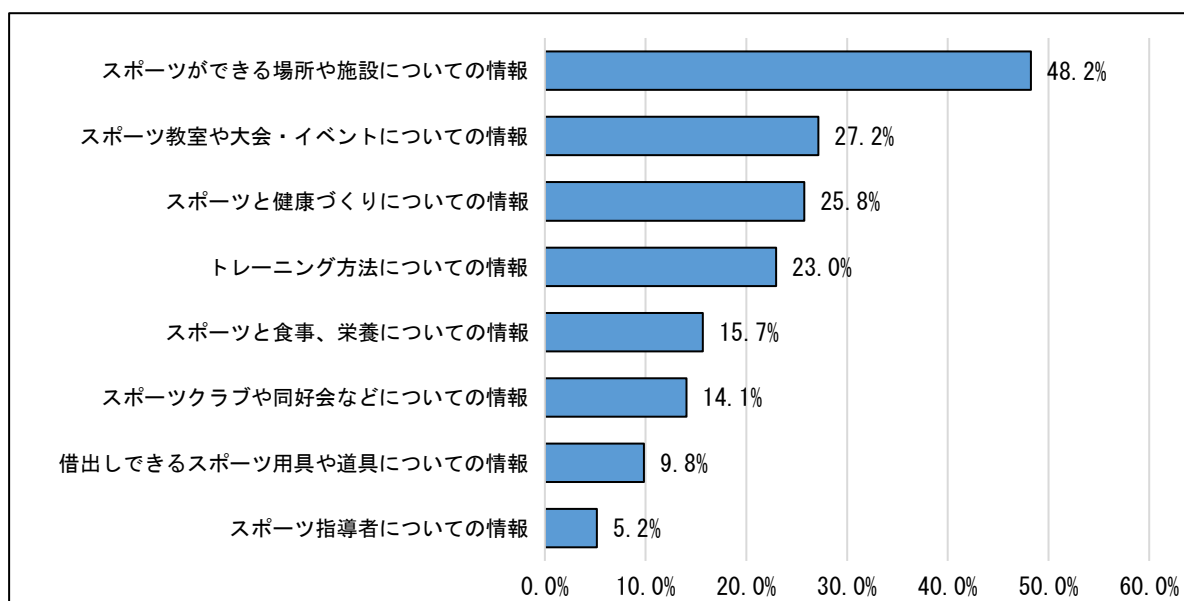


## エ スポーツに関する情報

スポーツに関する情報で今後発信してもらいたい情報

「スポーツができる場所や施設についての情報」が約半数

スポーツに関する情報で今後発信してもらいたい情報（複数回答）は、「スポーツ  
ができる場所や施設についての情報」が48.2%と約半数を占め、続いて「スポー  
ツ教室や大会・イベントについての情報」が27.2%、「スポーツと健康づくりに  
ついての情報」が25.8%となっています。

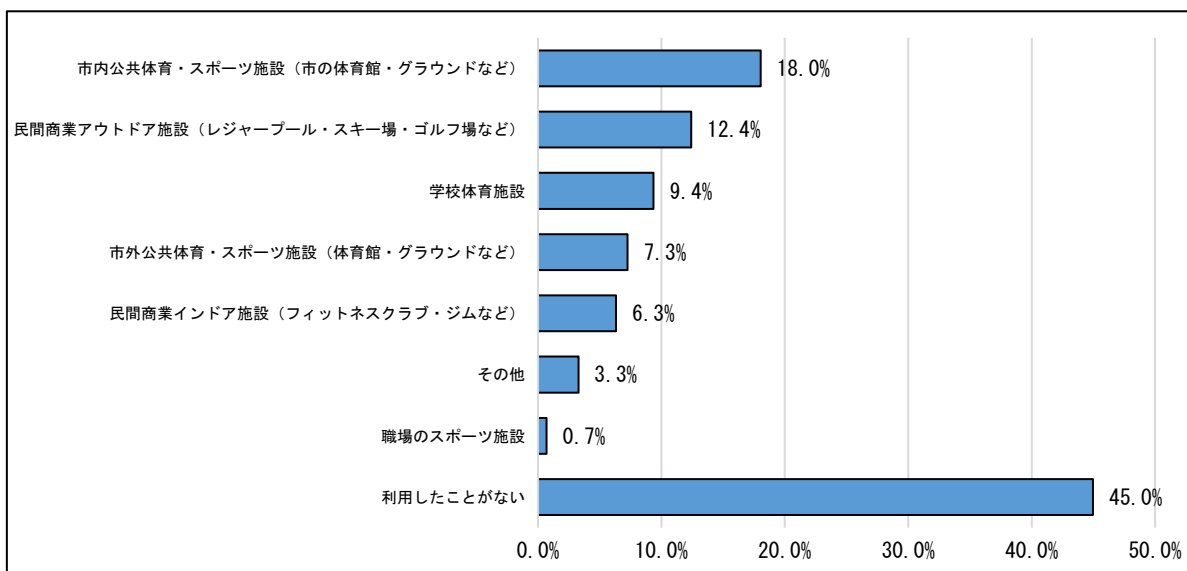


## オ スポーツ施設について

### (ア) よく利用するスポーツ施設

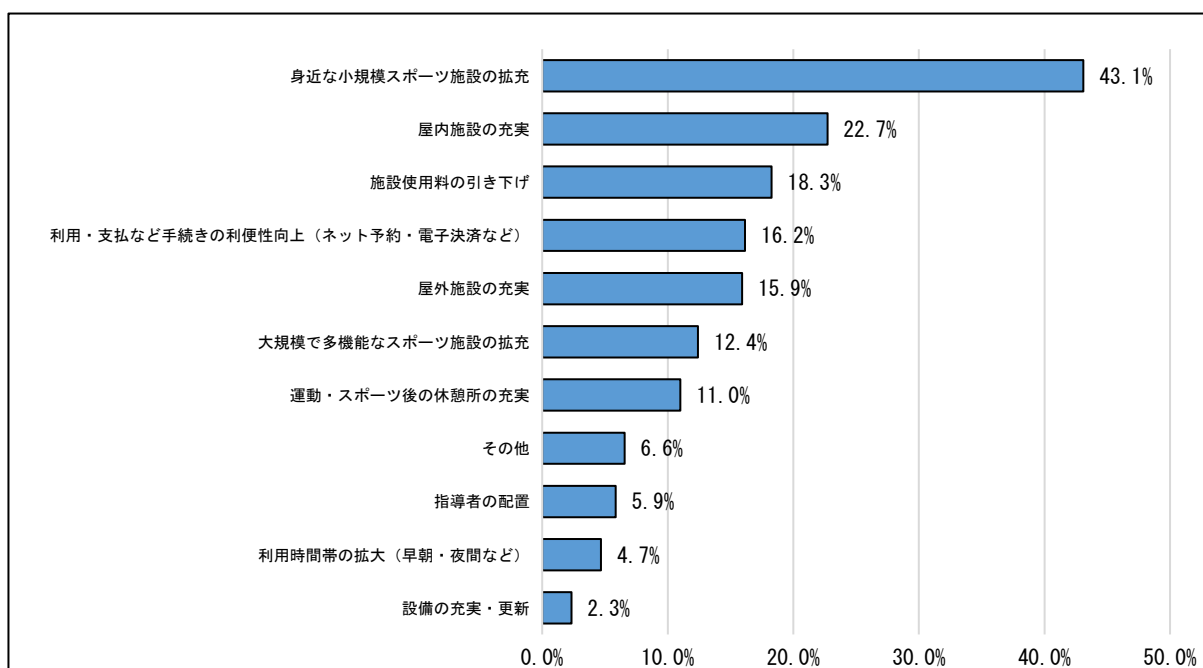
#### 「市内公共体育・スポーツ施設（市の体育館・グラウンドなど）」

よく利用するスポーツ施設（複数回答）は、「市内公共体育・スポーツ施設（市の体育館・グラウンドなど）」が18.0%、「民間商業アウトドア施設（レジャープール・スキー場・ゴルフ場など）」が12.4%、「学校体育施設」が9.4%となっています。



### (イ) 市のスポーツ施設に望むこと 「身近な小規模スポーツ施設の拡充」

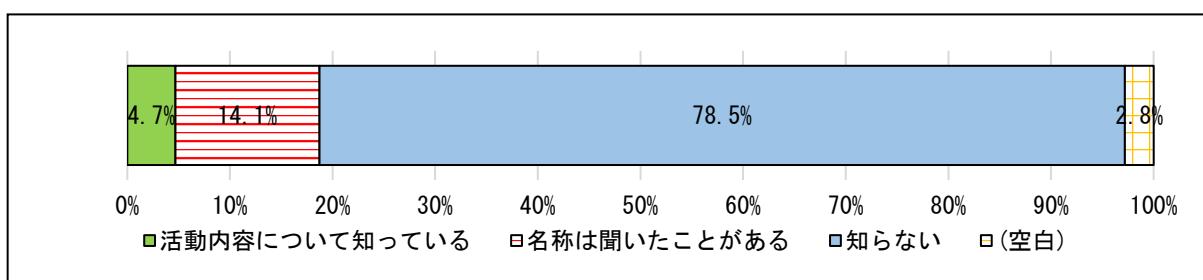
市のスポーツ施設に望むこと（複数回答）は、「身近な小規模スポーツ施設の拡充」が43.1%、「屋内施設の充実」が22.7%、「施設使用料の引き下げ」が18.3%となっています。



## カ 総合型地域スポーツクラブについて

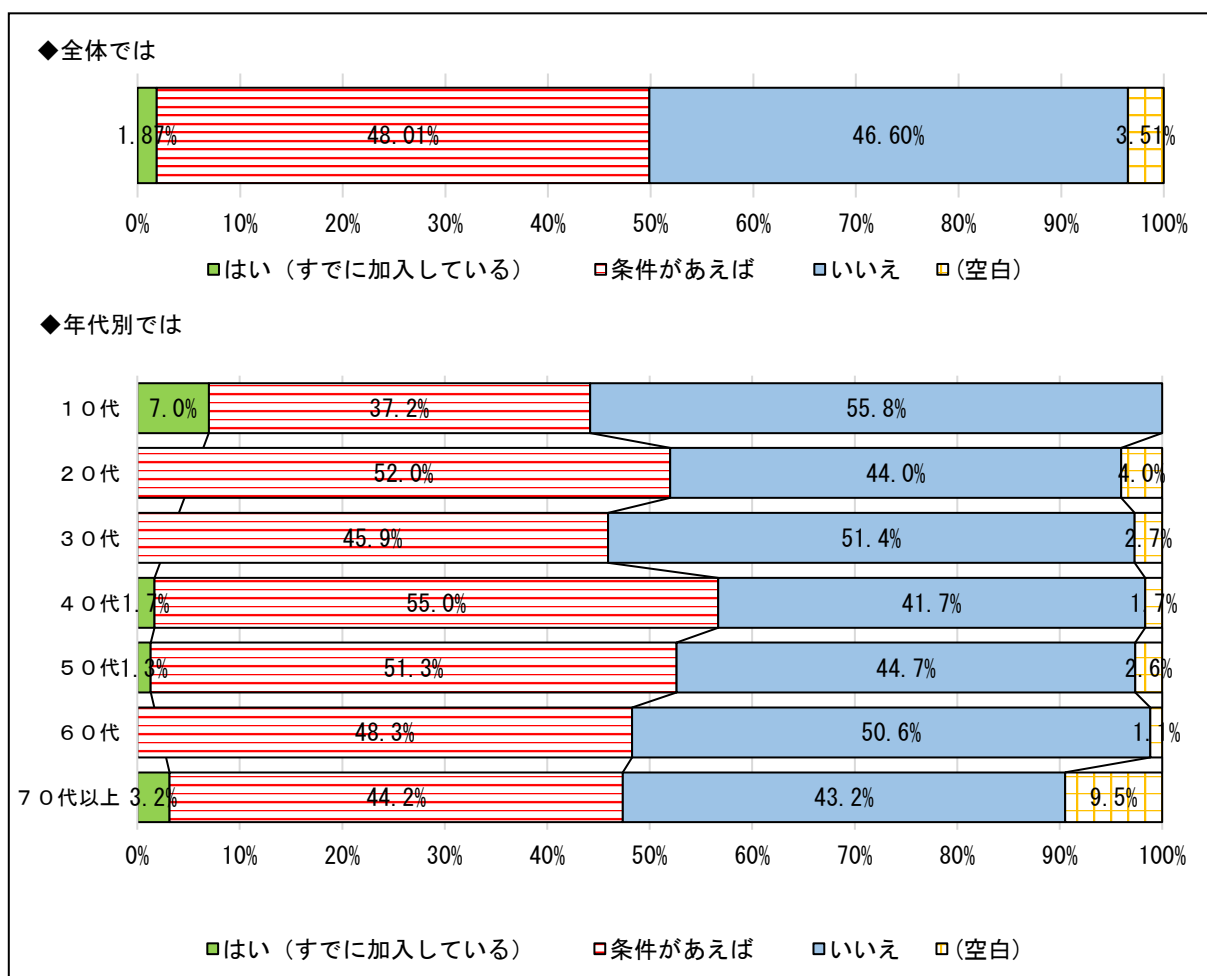
(ア) 総合型地域スポーツクラブの知名度 「知らない」が約80%

文部科学省が推進している総合型地域スポーツクラブについて、「活動内容について知っている」が4.7%、「名称は聞いたことがある」が14.1%で、把握している人はほぼ5人に1人とどまっております、「知らない」が圧倒的に多い78.5%を占めています。



(イ) 総合型地域スポーツクラブに加入したい 「条件があれば」が約48%

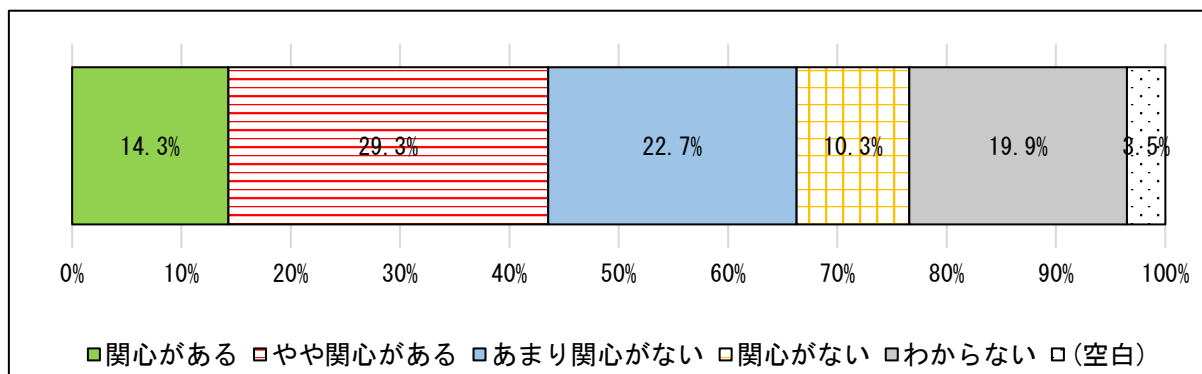
身近に総合型地域スポーツクラブがあれば加入したいと思う人は、「条件があれば」が48.01%、「いいえ」が46.60%、「はい(すでに加入している)」が1.87%となっています。



### キ 障がい者スポーツについて

障がい者スポーツへの関心 ほぼ半数の方が関心あり

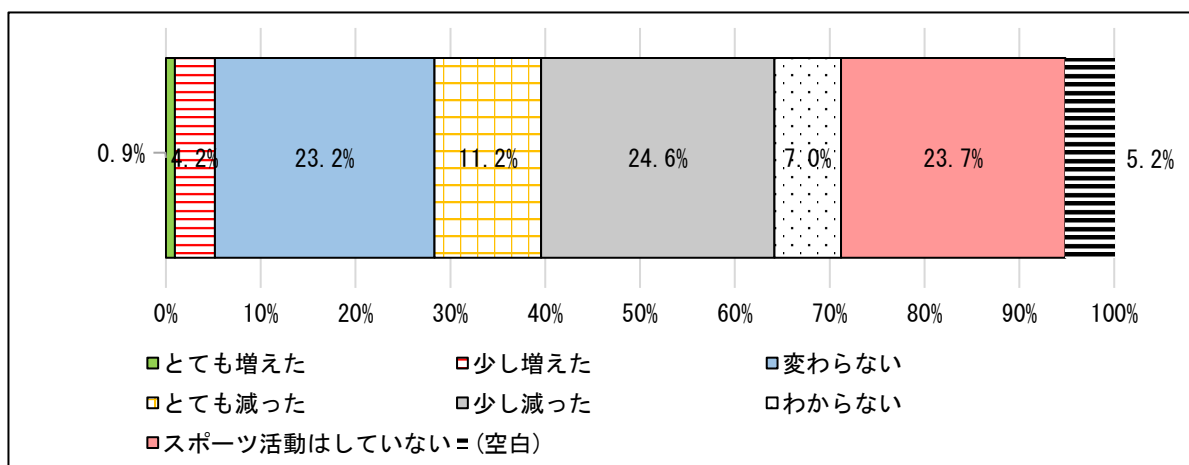
障がい者スポーツについて、「関心がある」が14.3%、「やや関心がある」が29.3%と合わせ45.6%の方が関心を持っている状況となっています。



### ク 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ活動 減った方が約36%

この1年間で新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ活動は、「少し減った」が24.6%、「とても減った」が11.2%で、合わせて35.8%の方は、スポーツ活動が減ったと回答しています。





## 佐久市公共施設等総合管理計画改訂方針（案）

### 趣旨

本市では、少子化による人口減少などに伴い厳しい財政状況が見込まれる中において、今後発生しうる建築物や道路、橋などの「公共施設等」の更新や維持にかかる多額の費用への対応に向けて、公共施設等の適正な配置や管理の効率化を図るため、平成29年3月に「佐久市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。

「総合管理計画」は、佐久市が「公共施設マネジメント」として、公共施設等の適正化のために策定してきた「公共施設白書」、「公共施設マネジメント基本方針」に、「公共施設最適化推進方針」を新たに加え、公共施設等の利用需要の変化を踏まえつつ、長期的な視点から、公共施設等の適正化を実現しようとするものです。

平成29年度を始期とする「総合管理計画」の策定から5年が経過する中で、社会情勢の変化に対応することや、令和3年度中に施設ごとの具体的な対応方針を定める「個別施設計画」の内容を踏まえた見直しを行うよう国から要請を受けていることから、今年度策定する個別施設計画に合わせ、「総合管理計画」の改訂を行うものです。

### 1 改訂方針

平成29年3月に策定した「総合管理計画」では、今後の公共施設等の最適化に向けた事業の進捗などにより、「第二次佐久市総合計画」や「第三次行政改革大綱」の計画期間と連動し、5年ごとに見直すこととしています。

また、国の指針等においても、策定時点からの社会情勢の変化に対応し、総合管理計画の充実として「不断の見直しを実施し順次充実させていくことが適当である。」としていることから、次の3つの留意事項等を踏まえて、令和3年度中に「総合管理計画」の改訂を行います。

#### (1) 基本的事項

総合管理計画の基本的な構成要素として記載する必要があることから、施設保有量や現状や課題に関する基本認識などの更新を行うとともに、新たな項目として有形固定資産減価償却率の推移などを盛り込みます。

#### (2) 維持管理・更新等に係る経費

総合管理計画の進捗や効果等を評価するために不可欠な要素であり、「個別施設計画」の内容を踏まえ精緻化を図る必要があることから、耐用年数の経過時に単純更新した場合の見込みなどを更新するとともに、「個別施設計画」に基づく対策の効果額を盛り込みます。

#### (3) 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

全ての公共施設等についての基本方針を定める計画であることを踏まえて記載する必要があることから、公共施設等の管理（点検・診断、維持管理・更新、安全確保、耐震化、長寿命化、ユニバーサルデザイン化、統合・廃止）に係る方針などの更新を行います。

### 2 改訂スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政改革推進本部会議		改訂方針		改訂作業					計画案	
行政改革推進委員会	諮問	改訂方針		改訂作業				素案	計画案	答申
市民意見の反映			パブコメ タウンミーティング	改訂作業					パブコメ 住民説明会	
議会説明				改訂作業				素案		計画案

### 3 計画期間

	H29	...	R3	R4	...	R8	...	R38
公共施設等総合管理計画	公共施設等総合管理計画 (5年)			(10年)				
個別施設計画				個別施設計画				

### 4 個別施設計画

個別施設計画は、「総合管理計画」に基づき、施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、施設の現状を客観的に分析し、今後の維持管理・更新等に係る対策の基本方針、対策内容、実施時期等を定めるものです。

国のインフラ長寿命化基本計画に示された6項目（①対象施設、②計画期間、③対策の優先順位の考え方、④個別施設の状況等、⑤対策内容と実施時期、⑥対策費用）を網羅することを前提に、施設ごとの健全性や経済性等の状況を把握・分析した上で、将来を見据えた施設の基本方針や具体的な対策内容等について考え方を整理するとともに、建替え・大規模改修等の対策を計画的に進めるためのスケジュールを示すことで、効果的、効率的なサービスの提供を将来に渡って確保していくため、令和38年度までを見据えた計画として、現在策定を進めております。

佐久市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（スポーツ・レクリエーション系施設）【概要版】

No.	種別	施設名	経過年数	構造	基本方針	適用手法	具体的な対策内容	実施時期			延床面積		施設所管課
								短期 (～R8)	中期 (R9～R18)	長期 (R19～R38)	現状値 (㎡) H27年度時点	見込値 (㎡) R38年度時点	
1	スポーツ施設	佐久市総合体育館	43年	RC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。あわせて、佐久市勤労者体育館及び内山地区社会体育館の機能を集約化する。			○	5,708.30	5,708.30	スポーツ課
2	スポーツ施設	佐久市勤労者体育館	45年	RC造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止し、佐久市総合体育館に機能を集約化する。			○	893.00	0	スポーツ課
3	スポーツ施設	東地区社会体育館	38年	SRC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。			○	1,044.07	1,044.07	スポーツ課
4	スポーツ施設	内山地区社会体育館	37年	SRC造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止し、佐久市総合体育館に機能を集約化する。			○	699.66	0	スポーツ課
5	スポーツ施設	大沢地区社会体育館	36年	SRC造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止し、野沢体育センターに機能を集約化する。			○	999.70	0	スポーツ課
6	スポーツ施設	浅間体育センター	31年	SRC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。			○	1,252.89	1,252.89	スポーツ課
7	スポーツ施設	野沢体育センター	25年	SRC造	機能保持	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行い、大沢地区体育館の機能を集約化する。			○	1,499.70	1,499.70	スポーツ課
8	スポーツ施設	県民佐久運動広場 屋内ゲートボール場	61年	鉄骨造	建替再整備	建替再整備	・令和8年度までを目途に候補地を検討し、建替えを行う。	○			941.55	900.00	スポーツ課
9	スポーツ施設	佐久市営武道館	51年	SRC造	総量コントロール	廃止	・県立武道館が建設されたことに伴い、令和3年度をもって用途廃止する。	○			1,263.96	0	スポーツ課
10	スポーツ施設	臼田体育センター	46年	鉄骨造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。		○		1,092.00	1,092.00	スポーツ課
11	スポーツ施設	臼田武道館	37年	SRC造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止する。			○	552.22	0	スポーツ課
12	スポーツ施設	臼田弓道場	10年	木造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止する。			○	241.64	0	スポーツ課
13	スポーツ施設	臼田ふれあいゲートボール場	28年	木造	機能保持 【総量コントロール】	長寿命化（計画的保全） 【廃止】	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。 【長期の期間内を目途に、その時点での劣化状況を踏まえ、用途廃止を検討する。】		○	○	1,180.06	0	スポーツ課
14	スポーツ施設	浅科多目的屋内運動場	26年	鉄骨造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。		○		1,187.50	1,187.50	スポーツ課
15	スポーツ施設	浅科柔剣道場	39年	RC造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止する。			○	500.00	0	スポーツ課
16	スポーツ施設	望月総合体育館	37年	RC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、令和8年度までを目途に長寿命化を行う。	○			2,374.64	2,374.64	スポーツ課
17	スポーツ施設	布施体育館	34年	RC造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止し、望月総合体育館に機能を集約化する。			○	883.00	0	スポーツ課
18	スポーツ施設	春日体育館	43年	鉄骨造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止し、望月総合体育館に機能を集約化する。			○	736.00	0	スポーツ課
19	スポーツ施設	本牧体育館	45年	鉄骨造	総量コントロール	集約化	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に用途廃止し、望月総合体育館に機能を集約化する。		○		600.00	0	スポーツ課
20	スポーツ施設	望月屋内ゲートボール場	33年	鉄骨造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。		○		571.00	571.00	スポーツ課

No.	種別	施設名	経過年数	構造	基本方針	適用手法	具体的な対策内容	実施時期			延床面積		施設所管課	
								短期 (~R8)	中期 (R9~R18)	長期 (R19~R38)	現状値 (㎡) H27年度時点	見込値 (㎡) R38年度時点		
21	スポーツ施設	佐久総合運動公園	9年	RC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。			○	3,401.97	6,289.56	スポーツ課	
22	スポーツ施設	臼田総合運動公園	30年	SRC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に長寿命化を行う。			○	2,001.86	2,001.86	スポーツ課	
23	スポーツ施設	佐久市営グラウンド（放送室棟）	37年	RC造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止する。			○	79.52	0	スポーツ課	
24	スポーツ施設	千曲運動広場テニスコート（管理棟）	14年	木造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、長期の期間内を目途に用途廃止する。			○	34.02	0	スポーツ課	
25	スポーツ施設	千曲川スポーツ交流広場（管理棟）	26年	木造	機能保持 【総量コントロール】	長寿命化（計画的保全） 【廃止】	・施設の劣化状況を踏まえ、中期の期間内を目途に長寿命化を行う。 【長期の期間内を目途に、その時点での劣化状況を踏まえ、用途廃止を検討する。】		○	○	74.53	0	スポーツ課	
26	スポーツ施設	望月総合グラウンド（管理棟）	32年	RC造	機能保持	長寿命化（計画的保全）	・中期の期間内を目途に長寿命化を行う。		○		194.70	194.70	スポーツ課	
27	スポーツ施設	春日温泉ゴルフ練習場	33年	RC造	総量コントロール	廃止	・施設の劣化状況を踏まえ、令和8年度までを目途に用途廃止する。	○			217.00	0	観光課	
											延床面積合計 (㎡)	30,224.49	24,116.22	
											削減面積 (㎡)	6,108.27		
											削減率	20%		
											総合管理計画における削減面積の目標 (㎡)	6,045		